

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：35006

学校名：札幌市立東月寒中学校

改訂のポイント		○「分かる・できる・楽しい授業」づくりの充実を図り、自ら課題を見つけ、自ら問題を解決する資質や能力の育成に努める。 ○基礎的・基本的な知識及び技能の習慣を図り、個に応じた指導法の工夫・改善に努める。	
項目名	項目内容	項目内容の具体	
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆学校、家庭での学習習慣の確立と意欲的に学ぶ生徒 ☆話し合いなどの協働的な学びが学習課題の解決に役立つことを実感させ、他者を認め合いながら学ぶ生徒	
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 ・題材に応じた興味関心のある教材の提示 ・生徒が自分の伸びを実感する評価	【成果】 ⇒「今の自分にとって、どのように勉強するのがよいかわかってる」という生徒が69.2%と、僅かではあるが増加した。全国学力・学習状況調査で「将来の夢や目標をもっている」という生徒は67.1%と増加傾向である。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ・話し合い活動を取り入れた授業づくり ・課題探究的な学習を取り入れた、授業の工夫改善	【成果】 ⇒「意見を発言する前に、自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている。」69.9%。全国学力・学習状況調査で「自分の考えを発表するとき、自分の考えがうまく伝わるように話の組立てなどを工夫している」という生徒は51.8%と増加傾向である。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ・モジュール学習による基礎基本の定着 ・テスト前計画作りにより家庭学習の習慣化	【成果】 ⇒「勉強で同じ間違いをくり返さないように気を付けている。」という生徒が85.3%と増加。「新しく習ったことは、くり返し練習をしている。」54.5%と減少傾向となった。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 ★学ぶ意欲が得られるような、目標を明確にしたわかりやすい授業づくりを行い、個に応じた指導および相談活動の充実に取り組む。	
	具体的な改善策（取組）	○少人数の話し合い活動を取り入れた授業づくりおよび指導の充実 ○校内研修の推進（課題解決的な学習活動を取り入れた授業の工夫改善） ○セルフチェックを活用した授業づくりと授業の振り返り（教師側） ○各授業における目標の設定と定着を図り、伸ばすための指導方法の確立 ○IT および習熟度別授業の有効活用 ○朝の時間を活用したモジュール学習 ○教育相談アンケートおよび学期ごとの教育相談の実施 ○昼の勉強会や放課後の自主学習の場を設け、「自ら学ぶ」方法を身に付けられるようにしていく学習の取り組みをサポート ○さっぽろっ子「学び」のススメ、「まほうのかいわ」のPTA集会などでの活用	
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○各教科の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやレポート、ノート、授業観察など） ○全国学力・学習状況調査結果や学校独自の学校生活アンケート調査結果の活用 ○札幌市全体の共通指標によるアンケート（生徒の自己評価）の活用	